

各 位

会社名 アールビバン株式会社
 代表者名 代表取締役社長 野澤 克巳
 (JASDAQ・コード 7523)
 問合せ先 経営企画室マネージャー 中島 章裕
 電話番号 03-5159-7177

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 11 月 5 日に公表いたしました平成 22 年 3 月期通期(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期 通期業績予想数値の修正

(1) 平成 22 年 3 月期 連結業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想(A)	6,070	550	510	220	16.00
今回修正(B)	6,350	810	770	410	29.83
増減額(B-A)	280	260	260	190	—
増減率	4.6%	47.3%	51.0%	86.4%	—
(参考)前期実績 (平成 21 年 3 月期)	6,888	537	521	24	1.76

(2) 平成 22 年 3 月期 個別業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想(A)	1,910	△100	△50	△250	△18.19
今回修正(B)	2,070	50	1,110	880	64.02
増減額(B-A)	160	150	1,160	1,130	—
増減率	8.4%	—	—	—	—
(参考)前期実績 (平成 21 年 3 月期)	2,280	△73	3	△509	△37.05

2. 修正の理由

(連結)

売上高につきましては、アート関連事業、金融サービス事業において当初予想を上回る実績で推移しており、また、売上高の増加に加え、グループ全体として引き続き、原価率の改善及び経費削減等の諸施策を実施することにより、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回発表の予想を上回る見込みです。

(個別)

アート関連事業の催事販売において、お客様視点に立った営業力強化に一層注力したことにより、売上高は当初予想を上回る見込みです。また、経常利益、当期純利益は、連結子会社である株式会社ダブルラックからの受取配当金1,000百万円を計上することから、前回発表の予想を上回る見込みです。

なお、連結子会社からの受取配当金は、内部取引として消去されるため、連結業績数値には影響いたしません。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、状況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上